

めざす児童生徒像

「笑顔あふれる月津っ子」

- ・ 自ら学び表現する子・・・主体的に学び、進んで自分の考えを表現する子
- ・ 友達と協働できる子・・・友達や学校のために、他者と協力して働く子
- ・ ねばり強くやり抜く子・・・よりよくなろうと動き出し、最後までやりぬく子

※児童生徒達成結果－教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
(学校重点項目)	トライで笑顔	すべての項目について肯定する児童の割合を80%以上とする。	① よりよくなろうと考え、挑戦し続けている。							
			② 相手に伝わる挨拶を自分からしている							
			③ 学校やクラスのために委員会や係の活動に自分から取り組むことができた。							
			集計							
重点項目	働き方や業務の改善	すべての項目について肯定する教員の割合を80%以上とする	① 60時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。							
			② 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。							
			③ 提案活動後直ちに振り返り、提案文書を訂正し、業務の改善に努める。							
			集計							
小松市共通重点項目	学校研究	③について そう感じていると答える教員の割合を80%以上にする	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。							
			② 研究主題に迫る目指す授業像(児童生徒像)を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。							
			③ 教職員一人一人が授業研究に主体的に取り組み、自校の授業改善に向けた取組を共有・実践している。							
			集計							
			集計							
	指導力の向上	授業	算数科において ②⑤の項目を児童・教員ともに80%以上にする	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。						
				③ (発表力) 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ (記述力) 児童生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。						
				⑤ 児童生徒は、友達と話し合うとき、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて(聞いて)、自分の考えを持つことができる。						
⑥ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。										
学力の定着	学力調査	④⑤について目標点を達成することができる。	① 学力の重点目標や具体的な取り組みは全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている。							
			② 学校力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。							
			③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。(小中連携)							
			④ 単元末の国語のテストの平均点を低学年は90点、中学年と高学年は85点をを目指す。							
			⑤ 単元末の算数のテストの平均点を低学年は90点、中学年と高学年は85点をを目指す。							
	集計									
	家庭学習	① ①について児童アンケートの割合を80%以上にする。								
集計										